

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社 学研データサービス

②施設・事業所情報

名称： みなみ台保育園	種別： 認可保育園				
代表者氏名： 園長 岡田 真奈	定員（利用人数）： 100（131）名				
所在地： 226-0018 神奈川県横浜市緑区長津田みなみ台1-38-7					
TEL： 045-989-3731	ホームページ： http://www.minamidai-hoikuen.com/				
【施設・事業所の概要】					
開設年月日	2004年12月1日				
経営法人・設置主体（法人名等）：	株式会社Berry				
職員数	常勤職員： 29名 非常勤職員： 17名				
専門職員	保育士 34名 栄養士 2名				
	看護師 0名 調理員 6名				
	用務員 0名				
施設・設備の概要	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%; border: none;">居室等</td> <td style="width: 30%; border: none;">本園：保育室 7 分園：保育室 6</td> <td style="width: 40%; border: none;">設備等</td> <td style="border: none;"> 本園：調理室1・事務室1・医務室1・トイレ7・保育士休憩室1・冷暖房・屋外遊戯場 分園：調理室1・調乳室1・事務室1・医務室1・トイレ10・冷暖房・屋外遊戯場 </td> </tr> </table>	居室等	本園：保育室 7 分園：保育室 6	設備等	本園：調理室1・事務室1・医務室1・トイレ7・保育士休憩室1・冷暖房・屋外遊戯場 分園：調理室1・調乳室1・事務室1・医務室1・トイレ10・冷暖房・屋外遊戯場
居室等	本園：保育室 7 分園：保育室 6	設備等	本園：調理室1・事務室1・医務室1・トイレ7・保育士休憩室1・冷暖房・屋外遊戯場 分園：調理室1・調乳室1・事務室1・医務室1・トイレ10・冷暖房・屋外遊戯場		

③理念・基本方針

- ・子ども一人ひとりが安心して自分らしさを発揮できる生活環境をつくり「思いやり」「意欲」「自主性」「集中力」「創造力」を育てます。
- ・『異年齢グループ保育』（3～5歳児）を取り入れ、子どもと子どもの自然なかかわり合いによって互いに違いを認め合いながら、協力し合う「育ちあい」の保育を目指します。
- ・保育所が果たすべき役割として、一つは「保育のニーズが多様化するなかで、子どもたちが安心してゆったりと、しかもやる気いっばいに育ち合う場として保育所が求められていること」、もう一つは「次世代を担う子どもを育成する家庭を社会全体で支援する為に保育所が地域の信頼に応えながら地域の育児力を高め、保育問題を地域で解決していく役割を担うこと」、この2つの重要性を受けとめ、日々、子どもの生活実態とそれを取りまく地域社会の把握につとめ、保育の充実、運営の発展、児童福祉の増進を目指し、保育所が地域と一体となって子育て支援に取り組みます。

④施設・事業所の特徴的な取組

園では保護者の就労や子育て家庭の状況に応じた支援として、開園時間を7時～20時としています。園舎は地震に強い構造で、防犯ガラスを使用し、照明は飛散防止の対応をして安全対策に努めています。屋上には太陽光パネル、蓄電池システムを導入し緊急時の電力を備蓄しています。保育室は自然の風や光が入る設計です。防犯対策としてオンラインセキュリティーを導入し、24時間、不審者侵入や非常事態に対応しています。施設設備、インテリアは「安全性」「自然素材」にこだわり、床、腰壁、家具はひのきを使用しています。ディスプレイは専門家により季節ごとに変えていて、日々接している子どもたちの感性を育てています。給食は子どもの成長に重要であると考え、天然の味と素材を大切に、米は生産農家の方の写真入りのものを使っています。食材には地産地消を取り入れ、子どもたちが地域の特産物を知り、地域への愛着につながるようにしています。食育にも力を入れています。園庭にはさまざまな果樹を植え、子どもたちが収穫し、みんなで季節の果物を味わっています。園の畑があり、野菜の栽培、収穫、クッキングを通して、食への関心や健康の基本となる「食を営む力」をはぐくんでいます。

地域とのかかわりを大切に、地域の子育て支援、伝統文化の継承、また自治会が主催する行事に積極的に協力し、地域の発展に貢献できるよう努めています。

人材育成専任職員による新人研修やエルダー研修（先輩職員による職場内研修）を実施し、今後の取り組みや将来に向けての指導を行うなど、人材育成の強化に取り組んでいます。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2020年7月9日（契約日）～ 2021年3月2日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（2015年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

◆「エルダー制度」を運用し、保育水準・組織力の向上を図っています

園では新人教育を大切にしています。先輩職員「エルダー」が1年間を通じてOJT（職場内研修）を行う育成制度を導入、運用しています。エルダーによる日々のOJTに加えて、入社前研修では保育士の心得、保育の基本的考えを伝えています。3か月後研修では現場実践を経て悩みの相談、助言を行い、1年後研修では年間の振り返りを行うなど、OJTと研修・面談を通じて、新人職員の職業能力の開発・向上に取り組んでいます。エルダーに対する研修は、「ともに成長する」を目的に指導技術の習得とともにエルダーを担当する職員の学びの機会としています。エルダー制度の運用を通じて、園全体の保育水準の向上、組織力向上に取り組んでいます。

◆子どもが主体的に遊べる環境構成を工夫し、保育の質向上を目指しています

自然の光と風が入り込む保育室は、ひのきの家具や職員手作りのパーテーション、サボテンの形をした輪投げのおもちゃなどが配置され、家庭的な温かみのある空間となっています。園長は、子どもの様子をていねいに観察して思いをくみ取り、子どもの思いに寄り添って保育にあたるよう職員に伝えています。職員は、意識統一を図りながら保育内容などについて意見交換を行って、子どもが主体的に遊び込めるよう環境づくりに努めています。ゆったりできる絵本部屋やお絵描き、製作、楽器遊びなどのコーナー設定、体を動かせる広いスペース作りなどを工夫しており、子どもたちは自分で好きな場所を見つけて思い思いに園生活を楽しましています。

◇改善を求められる点

◆園の目ざす保育について簡明にホームページ上に記載することを期待します

園のホームページは暖かな色合い、見やすい構成、保育の実践をイメージしやすい写真の多用など、閲覧者にとってわかりやすく作成されています。提供する情報は保育方針、年間行事、保育サービス、保育環境など、必要な情報をコンパクトにまとめています。さらに保護者には写真や園便りなど、一般にはクローズされた情報を提供しています。一方、保育方針の項では、利用者にわかりやすく伝えることに配慮し、保育方針と保育目標を一体的な表現として編集されています。「思いやりを育てる」など、5つの項目が「保育目標」であることを閲覧者が認識できるよう、簡潔に明確に編集されることを期待します。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

これまでの自分たちの保育を見直し、より質の高い保育園づくりを目指して、第三者評価を受審しました。全職員が保育所運営や保育内容を振り返り、意見を出し合う中で、今まで気づかなかった保育園の良さや課題を発見することができました。

評価調査者の方々には、子ども主体の保育や環境の工夫、職員教育の一つであるエルダー制度、日々の保育の細かいところまで評価していただき、とても励まされました。今回いただいたご意見、アドバイスを保育、運営に生かしてまいります。

保護者の皆様には、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。今後のご意見や評価を真摯に受け止め、よりよい保育園を目指し、職員一丸となって努力してまいります。